

# 「新しい自分を見つけよう！きらりキャンプ in 阿蘇②」事業報告書

企画指導専門職 三枝ひとみ

## 1 事業の概要

- (1) 趣 旨 自然体験を通して、熊本地震の影響や不登校（不登校傾向、別室登校などを含む）など心に悩みをもつ青少年に自然体験の楽しさや達成感を感じさせ、自己肯定感を育む。また、交流の家での生活を通して、規則正しい生活のよさや友達と交流する喜びを感じさせ、基本的な生活習慣づくりのきっかけとなるようにする。
- (2) 期 日 平成 29 年 9 月 23 日（土）～ 9 月 24 日（日） 【1泊2日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
- (4) 参加者 10 名（中学生 7 名・小学生 1 名・幼児 1 名・引率 1 名）
- (5) 講 師 中島史生 氏（そば処 ほおずき 代表）  
中島いづみ 氏（研修指導員）
- (6) 担当職員 三枝ひとみ（企画指導専門職）安部信吾（企画指導専門職）  
宮本賀通（事業推進係員）益田力（事業支援室主任）宇戸口健（事業支援室係員）  
法人ボランティア 2 名
- (7) 内 容 【1日目】オリエンテーリング（ミニコース）、野外調理（カレー）  
【2日目】そば打ち体験

## 2 成果と課題

### (1) 成 果

- 「全部楽しかったです。」「いろいろなことができてよかったです。」（参加者）、「参加者が増えて生徒たちも楽しんでた。自由時間も無理なくできて充実していた。」（引率者）などの感想があった。体験活動だけでなく、自由時間に自分で活動を考えさせる場を設定したことで、参加者が無理なく楽しむことができ、高い満足度を得ることができた。（満足度 100%）
- オリエンテーリングでは、「みんなと協力してゴールできた。」「先にゴールしようなどと楽しく話しながらできたのでよかった。」「虫や生き物を見つけて楽しかった。」などの感想が聞かれ、子供たちが交流しながら自然体験をすることができた。
- 野外調理やそば打ち体験では、自分たちで役割分担をしながら進める姿が見られ、「みんなで協力して作れた。」「1から自分たちでできた。」などの感想もあり達成感を感じている様子が見えた。
- そば打ち体験では、講師と担当職員の打ち合わせを事前、当日と丁寧に行ったことで、安全かつスムーズに活動を進行することができた。

### (2) 課 題

- 自由時間に全員でゲームをしたことで、2日目の活動での子供たちの距離が縮まった。他校の参加者との交流を深めるためにも、第3回では全員で話し合っ活動を選択する場を設けたい。
- 参加者の学校での様子や配慮事項などについて事前に学校の先生に確認し、担当職員やボランティアで情報を共有する必要がある。